

伝統技術×先端技術で伝統産業を活性化 光り輝く未来の[導電織物壁紙] 10/2～10/10 関西万博会場 特許庁展示イベントにて展示

99%を占めるビニール壁紙の時代に、京都・木津川から世界市場へ。

小嶋織物株式会社（京都府木津川市、代表取締役社長：小嶋 一）は、2025 年 10 月 2 日～10 日、大阪・関西万博の特許庁出展イベント「明日を変える知財のチカラ」にて、伝統の織物に導電糸を織り込み、未来を照らす【導電織物壁紙】を発表・展示します。

■導電織物壁紙について

導電糸を織り込んだ織物壁紙。この度は LED ライトを繋ぐことで光り輝く織物壁紙に仕上げました。千年の都に受け継がれてきた織物の技に、最新の導電技術を融合。静謐な糸に電流が走るとき、壁はただの背景ではなく、光をまとうアートピースへと生まれ変わります。伝統の温もりと、未来の輝き。相反する価値をひとつに織り上げた「導電織物壁紙」は、空間そのものに気品と革新を宿します。万博という特別な舞台で、織物が示す“未来の美”をご体感ください。



※展示イメージ図

■「導電織物壁紙」 大阪・関西万博での展示への思い

日本の国内壁紙市場約 7 億㎡の中で、織物壁紙は約 0.2%未満にまで減少。ビニールクロスが 99%。日本では壁紙は総じて『クロス』と呼ばれます。それは、糸と糸が交わる『織物』が語源です。ヨーロッパで 500 年前からあったとされる壁紙の元祖です。織物壁紙は、見た目の美しさだけでなく、漆喰と同様の調湿効果や空気を清浄に保つ働き、LED 照明をやわらかに拡散する効果を持ち、室内を温かく包み込む独自の価値があります。さらに天然素材を使用しているため、焼却時に有毒ガスを発生せず、土に還る、人と地球にやさしい素材でもあります。



織細でやわらかな糸で作られる壁紙

私たち小嶋織物は、このような価値を持つ織物壁紙の可能性を未来につなげるため、導電糸を取り入れた「光り輝く織物壁紙」に挑戦しました。大阪・関西万博という世界が注目する舞台で、伝統と先端技術を融合させた新しい織物の魅力を発信してまいります。

壁紙が光ることで、壁紙自体が照明になる未来、サインやアートの表現として使われる未来を描いています。

■小嶋織物について



※チャレンジするアツギ娘/小嶋恵理香

京都・奈良・大阪を結ぶ要衝、古くから織物の産地として名高い京都府木津川市。ここで約 100 年前に創業した私たちは、日本の住文化とともに歩み、独自の技術を磨き続けてきました。1950 年代にはふすま紙用織物を手がけ、1970 年代には洋室文化の拡大に合わせて織物壁紙の生産を開始。伝統を守りながらも、時代の変化に柔軟に応じることで、新たな価値を生み出してきました。

紡績・製織から最終製品までを一貫生産できる企業は全国でもわずか数社。私たちは織物ふすま紙・織物壁紙の両分野で日本トップシェアを誇り、その製品は皇居をはじめ、ホテル・美術館、世界的ラグジュアリーブランドの店舗、星野リゾート様、スターバックス様など、国内外の名だたる空間で採用されています。

木津川市の伝統産業である織物ふすま紙・織物壁紙。その文化と技術を継承し、世界に誇れる美を追求する私たちの挑戦は、今、新たなステージへ——。日本発、世界へ広がる可能性を秘めた織物の未来を、ぜひご期待ください。

本件に関するお問い合わせ先: 取締役 小嶋恵理香 TEL090-1592-5489

小嶋織物株式会社 <http://www.kojima-orimono.com/>

京都府木津川市山城町上粕北野田芝 1-3

